

保存版

目の届く
場所に保管して
ください。

ハザードマップの使い方

風水害編

地震編

避難所等一覧

洪水ハザードマップ
マイタイムライン記入シート

石井町総合 防災 ハザードマップ

step1

災害ごとの
危険を知る

step2

防災行動
を確認

step3

自分の行動
を考える

早めの
避難行動

目次

- はじめに P.01
 - ハザードマップの使い方 P.02 ~ P.04
 - 風水害編
 - 警戒レベルと避難行動 P.05 ~ P.08
 - 風水害について知る P.09
 - 土砂災害について知る P.10
 - 地震編
 - 地震に備える P.11 ~ P.12
 - 地震について知る P.13
 - 地震ハザードマップ P.14
 - 避難所等一覧 P.15 ~ P.17
 - 石井町洪水ハザードマップ・巻末ポケット
- topic**
- ペットの防災対策 P.03
 - 「浸水ナビ」地点別浸水シミュレーション検索システム P.07
 - 走行中に自動車が水没したらどうなる？ P.08

はじめに

石井町総合防災ハザードマップ(以下、ハザードマップ)は、身近な地域の災害リスクについて具体的に理解を深め、災害ごとの避難行動を確認し、実際の災害をイメージしながら、自らに適した避難行動やそのタイミングについて考えていただくために作成しました。

いざという時のために、日ごろからご家族はもちろん、ご近所や自主防災組織の方々と身の回りの危険箇所や避難場所、避難経路などについて話し合っておきましょう。

WEB版防災ハザードマップも併せてご覧ください！

紙に印刷されたハザードマップは、気軽に広げて見られ、ペンで書き込み、軽いのを持ち運べるメリットがあります。しかし、様々な災害種別の区域を見比べたり、自宅周辺を拡大して表示させたりするには不向きです。そこで、石井町WEB版防災ハザードマップを作成しました。



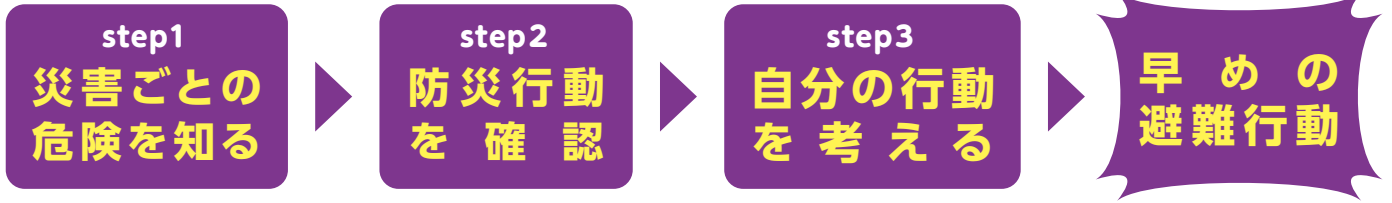
見たい河川の
浸水想定が見られます

避難所をクリックすると
その場所にジャンプ



✓ ハザードマップの使い方

次のステップでチェックすることで、具体的な防災行動を確認することができます。



step1 知る ハザードマップを見て、ご自宅の災害リスクをチェック！

巻末のポケットに2種類のハザードマップを入れています。

	表面	裏面
吉野川洪水ハザードマップ	想定最大規模	計画規模
飯尾川・江川・鮎喰川洪水ハザードマップ	想定最大規模	計画規模 (+平成16年台風23号浸水実績)

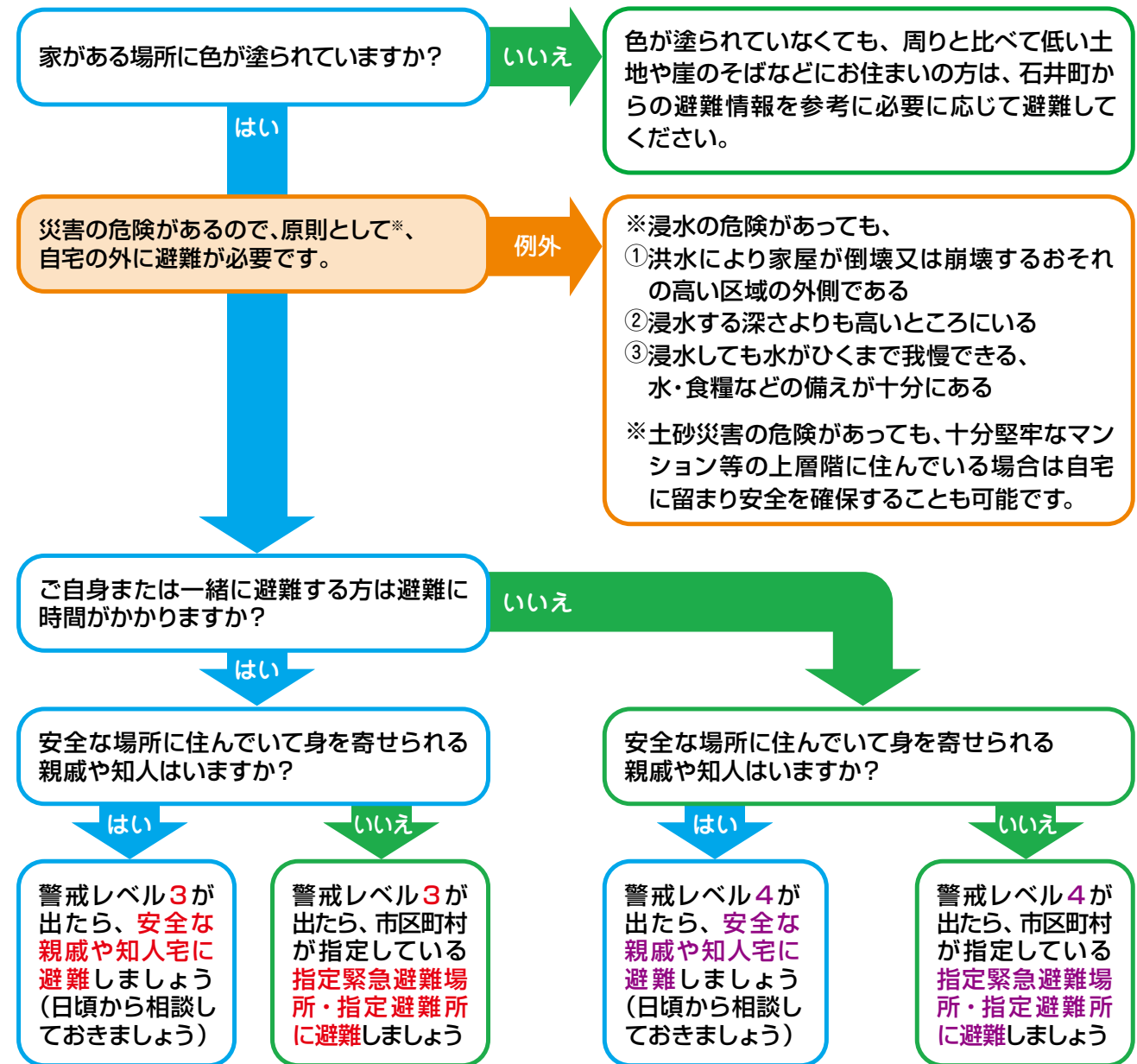
ハザードマップと下のチェックリストを見比べながら、河川や想定の種類ごとの災害リスクをチェックします。

災害の種類		浸水想定区域					家屋倒壊等氾濫想定区域		
		~0.5m	0.5~3.0m	3.0~5.0m	5.0~10.0m	10.0m~	氾濫流	河岸浸食	
洪水	吉野川 想定最大規模	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	吉野川 計画規模	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	飯尾川・江川・鮎喰川 想定最大規模	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	飯尾川・江川・鮎喰川 計画規模	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
土砂	土砂災害 警戒区域	区域外						区域内	
		<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>	

step2
確認フローチャートを使って
災害時の防災行動を確認しましょう。

下のフローチャートや、防災マップの情報ページなどを参考にして災害時の防災行動を確認しましょう。

ハザードマップの見方



topic ペットの防災対策

災害で想定されるペットの事態

- やけどや、けがなど負傷する。
- 迷子になる。
- 飼い主が飼育できなくなる、または飼い主がいなくなる。
- 同行避難による周囲とのトラブル。
- 飼い主とペットが離ればなれになることによる心理的影響。

日頃から心掛けること

- 預け先を見つけておく。
- ワクチン・予防接種。
- 名札・鑑札をつける。

防災対策チェックシート

- 迷子にならないための首輪
- リード
- 水（ペットボトルに用意）
- フードの買い置き
- キャリーバッグ（またはクレート）
- トイレシート、臭い防止のピックパック、男の子ならマーキングガードなどの生理用品。
- 靴、もしくはハンカチとガムテープなど足先を守るもの。
- タオル
- 薬などの救急セット



step3
考える

マイ・タイムラインに 具体的な行動を書き込みましょう

安全に避難するためにどのような順序で防災行動を行うべきかを避難指示等の行政が発信する情報のタイミングに合わせて考えてみましょう。考えがまとまったら巻末ポケットの「マイ・タイムライン記入カード」に書き込みましょう。

石井町 ○○地区○○家		吉野川 マイ・タイムライン		作成年月日 年 月 日			
2 3 日前	<p>黒：気象・防災情報 青：徳島河川国道事務所 緑：石井町</p> <p>○台風予報</p> <p>台風に関する徳島県気象情報(随時) 警戒レベル1</p>		<p>記入例</p> <p>○台風の今後を調べ始める</p> <p>○1週間分の薬を病院に受け取りに行く</p> <p>○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認</p>		<p>POINT ①</p> <p>災害の発生時点を「ゼロ・アワー」と定めます。「ゼロ・アワー」から時間を遡り、個々の防災行動を実施するタイミングと防災行動に必要な時間を整理していきます。</p>		
	1 日前	<p>大雨注意報・洪水注意報 警戒レベル2</p> <p>○台風に関する今後の見通し ◇大雨警報・洪水警報 上流域での大雨特別警報</p>		<p>○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意</p> <p>○避難する時に持って行くものを準備する</p> <p>○家族と連絡を取りあう</p>		<p>POINT ②</p> <p>地域のハザードマップやタイムラインなどを確認し、どのタイミングでどのような情報が得られるのかを整理します。なお、河川水位は、突然上昇することもありますので、継続的に河川水位に注意しましょう。</p>	
		-16h	<p>水防団待機水位到達</p>				<p>○住んでいるところと上流の雨量を調べ始める</p> <p>○携帯電話の充電</p> <p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を再確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p>
	-9h	<p>氾濫注意水位到達</p> <p>→ 洪水予報(氾濫注意情報)発表</p> <p>○避難所の開設 ◇暴風警報</p>		<p>○高齢者等避難に時間がかかる方は避難を始める。</p> <p>○その他の人は避難できるよう準備する</p>		<p>POINT ③</p> <p>事前準備、避難開始までの行動、身の安全の確保という流れで、それぞれの時期に行う内容を検討します。</p>	
	-7h	<p>避難判断水位到達 警戒レベル3相当</p> <p>→ 洪水予報(氾濫警戒情報)発表</p> <p>→ 高齢者等避難を発令</p>		<p>○携帯メール等で避難指示を受信</p> <p>○安全なところへ避難する</p>			
-6h	<p>氾濫危険水位到達 警戒レベル4相当</p> <p>→ 洪水予報(氾濫危険情報)発表</p> <p>→ 緊急速報メール(氾濫のおそれがある情報)</p> <p>→ 避難指示を発令</p>		<p>○命を守る最善の行動をとる</p>		<p>POINT ④</p> <p>防災気象情報をどのように得るのか、あらかじめ取得方法を確認しておきます。</p>		
-0h	<p>氾濫が発生 警戒レベル5相当</p> <p>→ 洪水予報(氾濫発生情報)発表</p> <p>→ 緊急速報メール(氾濫が発生した情報)</p>					<p>POINT ⑤</p> <p>災害後に避難生活がつづくことも想定し、事前の備えをしておきます。</p>	
					<p>POINT ⑥</p> <p>災害情報と照らし合わせ、避難を開始するタイミングを明確にしておきます。</p>		

雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期

水位等の状況を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

！ 警戒レベルと避難行動〔自分の命は自らが守る〕

町より高齢者等避難(警戒レベル3)や避難指示(警戒レベル4)等が発令された際には、危険な場所から速やかに避難してください。また、気象庁より警戒レベル3、警戒レベル4に相当する防災気象情報が発表された際には、避難指示等が発令されていなくても危険度分布等を用いて自ら避難の判断をしてください。

警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	住民が取るべき行動	町からの発令	気象庁等の情報			相当する警戒レベル
5	命の危険直ちに安全確保！ (命を守るための最善の行動をとる)	緊急安全確保 ※可能な範囲で発令 ・大雨特別警報発表時は、避難指示等の対象範囲を再度確認	大雨特別警報			5相当
4	危険な場所から速やかに避難 ・危険な区域の外の少しでも安全な場所に速やかに避難 ・危険度分布の「極めて危険」(濃い紫)出現時には、道路冠水や道路崩壊により、すでに避難が困難となっているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく	避難指示	土砂災害警戒情報	*2 高潮警報	高潮特別警報	4相当
3	土砂災害警戒区域等や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いお住まいの方は、避難準備が整い次第、避難開始 危険な場所から高齢者等は速やかに避難	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報	*1 高潮警報に切り替える可能性が高い注意報	警戒(警報級)	3相当
2	ハザードマップ等で避難行動を確認		大雨警報に切り替える可能性が高い注意報 大雨注意報 洪水注意報	高潮注意報	注意(注意報級)	2相当
1	災害への心構えを高める		早期注意情報(警報級の可能性)			

危険度分布

極めて危険	氾濫危険情報
非常に危険	氾濫警戒情報
警戒(警報級)	氾濫警戒情報
注意(注意報級)	氾濫注意情報

「避難勧告等に関するガイドライン」(内閣府)に基づき作成

*1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、高齢者等避難(警戒レベル3)に相当します。
*2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難指示(警戒レベル4)に相当します。

町から発令される避難情報

避難とは「難」を「避」けること、つまり安全を確保することです。
安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。

高齢者等避難 (警戒レベル3)	避難指示 (警戒レベル4)	緊急安全確保 (警戒レベル5)
<p>高齢者等避難が発令された際には、高齢者や障がい者等の避難に時間のかかる方や避難行動要支援者は危険な場所から避難を開始する。</p> <p>その他の人は避難の準備を整えるとともに、今後の防災気象情報、水位情報等に注意を払い、自発的に危険な場所から避難を開始することが望ましい。</p>	<p>避難指示が発令された際には、山ぎわや河川のそばなど危険な場所からできるだけ離れ、安全な親戚や知人宅、開設された指定避難所などの安全な場所へ速やかに避難する必要がある。</p>	<p>既に災害が発生している状況であり、高台へ逃げたり、垂直(階上)避難をするなど、命を守る行動をとる。</p> <p>なお、緊急安全確保は、災害が発生していることを、町が把握した場合に可能な範囲で発令するものであり、必ず発令されるものではないことに留意する。</p>

※町から発令される避難情報は、令和2年12月24日に内閣府の作業部会でとりまとめられたものであり、表現は変更の場合があります。

平時(日ごろの備え)

▶ 避難経路の確認

ハザードマップでお住まいの地域などの災害リスクを確認しましょう。

避難先は町が開設する避難所だけでなく安全な親戚や知人宅への避難も日ごろから相談しておきましょう。



▶ 家の周りを点検・整備

雨水の排水溝などは水がたまらないように清掃をこまめにしましょう。



▶ 防災訓練に参加しましょう

もし今、災害が発生したら…いざという時、より冷静に行動できるように、防災訓練などに積極的に参加しましょう。



▶ 非常持ち出し品を準備しておきましょう

避難所の備品には限りがありますので、自らが十分な準備をすると安心です。両手の空くリュックサックに非常持ち出し品を準備しておきましょう。重さの目安は、男性 15kg、女性 10kg です。

■ 非常持ち出し品リスト

食料品など	衣類など	貴重品	日用品・安全対策・その他
<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 非常食 	<input type="checkbox"/> 下着・上着 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 歯みがきセット <input type="checkbox"/> マスク 	<input type="checkbox"/> 貯金通帳 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 現金 	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 予備電池 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> 充電器 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 食品用ラップ

▶ 家庭での備蓄品

各家庭で最低3日間、できれば1週間過ごせるよう、飲料水(1人1日3リットル)、食料等を備蓄しておきましょう。保存期間の長い普段の食料を多めに買って置き、期限の近いものから消費、使った分を買い足す「ローリング・ストック方式」も効果的です。また、カセットコンロや下着、トイレトーパー、携帯トイレ等も備蓄してあるといざというときに役に立ちます。



家庭備蓄の例 (1週間分 / 大人2人の場合)

必需品	主食 <small>エネルギー 炭水化物</small>	主菜 <small>たんぱく質</small>	副菜・その他
水 2L×6本×4箱 <small>※1人1日およそ3L程度 (飲料水+調理用水)</small> 	米 2kg×2袋 <small>※1袋消費したら1袋買い足す(1人1食75g程度)</small> 乾麺(うどん・そば・そうめん・パスタ) <small>・そうめん2袋(300g/袋) ・パスタ2袋(600g/袋)</small> 	レトルト食品 <small>・牛丼の素、カレー等18個 ・パスタソース6個</small> 	日持ちする野菜類 <small>・たまねぎ、じゃがいも等</small> 調味料 <small>・お好みのもの</small> 梅干、のり、乾燥わかめ等 野菜ジュース、果物缶詰等 即席スープ等
カセットコンロ・カセットボンベ×12本 <small>※1人1週間およそ6本程度</small> 	カップ麺類×6袋 	缶詰(肉・魚) <small>・お好みのもの18個</small> 	
	その他(適宜) <small>・ロングライフ牛乳 ・シリアルなど</small> 		

台風や集中豪雨の場合は、地震などとは違い毎年同じ時期に同じような現象を繰り返します。TV、データ放送、ラジオ、インターネットなどで最新の気象情報をこまめにチェックし、避難の必要がある場合は速やかに避難しましょう。

防災行政無線 テレホンサービス

防災行政無線の放送内容が聞き取りにくい場合は、
 テレホンサービスをご利用ください。



088-674-7730

災害情報

徳島県「あんしん徳島」

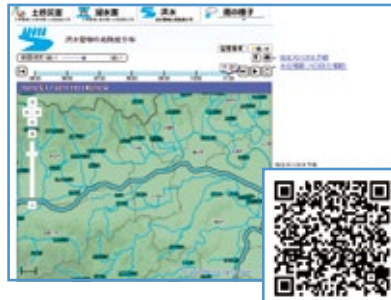
<https://anshin.pref.tokushima.jp/>
 洪水、土砂災害、地震、津波などの
 情報が入手できます。



洪水警報の危険度

気象庁「洪水警報の危険度分布」

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>
 洪水時の危険度の分布情報が
 入手できます。



河川映像・水位情報

国土交通省「川の防災マルチモニタ」

<https://www.river.go.jp/portal/#80>
 吉野川のライブ映像、水位情報
 が入手できます。



topic 「浸水ナビ」地点別

浸水シミュレーション検索システム

「浸水ナビ」を使うと、どの河川のどこの地点が決壊(破堤)したら、自宅や会社などが浸水するのかわかります。また、堤防決壊後の浸水の広がり方をアニメーションで見ることができます。これらの情報により、堤防が決壊(破堤)した場合、どのくらい浸水するのか、何時間で浸水が始まるのか、何日で水が引くのか、などをイメージすることができます。



0分後



20分後



40分後

警戒レベル3

「高齢者等避難」が発令された地域で、危険な場所にいる高齢者等、避難に時間のかかる方と、その支援者は避難を開始

▶ **高齢者等の避難に協力**

お年寄りや小さなお子さん、身体の不自由な方が、早めに避難できるよう、近所のみなさんは避難に協力しましょう。

特に、一人暮らしのお年寄りや病気の人たちには、ふだんから気配りが必要です。



▶ **その他の人は避難の準備!**

警戒レベル4

「避難指示」が発令された危険な場所にいる人などは全員避難

避難所に移動することによりかえって命に危険を及ぼしかねない場合は、近隣のより安全な場所に避難してください。また、外出すら危険な場合には屋内で安全を確保してください。

履物に注意しましょう!

運動靴が最適です。長靴は浸水が深いと中に水がたまるので動きにくくなります。

▶ **複数で避難・隣近所に声をかけましょう!**

一人で避難すると、事故にあったとき非常に危険です。複数で避難し、隣近所に声をかけていきましょう。



危険な場所は避けて避難しましょう!

ガード下や、がけ地、堤防などを通るのは危険です。近道であっても避けましょう。橋を渡ることは避けて避難しましょう。

▶ **車での避難は控えましょう!**

自動車での避難は緊急車両の妨げとなりますので、特別の場合を除きやめましょう。



歩ける深さに注意しましょう!

浸水時に歩ける深さは、ひざの高さ程度までです。水かさが腰までであると疲労しやすく、流速がある場合は20cm位の水かさでも危険です。高い場所で救援を待ちましょう。

警戒レベル5

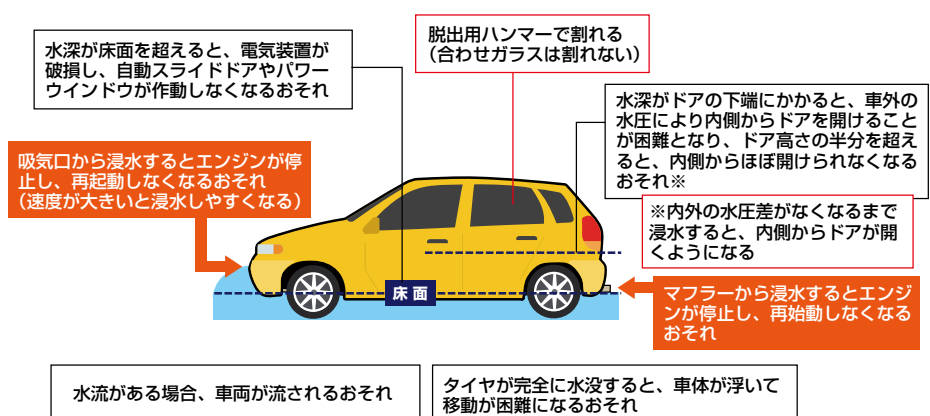
命の危険直ちに安全確保! ※災害が発生した場合に必ず発令されるものではありません

既に災害が発生している状況であり、命を守る最善の行動をとりましょう。

topic 走行中に自動車が水没したらどうなる?

令和元年の台風 19 号等による大雨においては、自動車が水没する等により、運転者や同乗者が亡くなる事故が相次ぎました。

自動車は、エンジンやモーターで駆動し、電気装置により制御されているため、水深が車両の床面を越えて車内へ浸水すると、様々な不具合が発生するおそれがあり、最悪の場合、エンジンやモーターが停止して移動できなくなります。また、水深がドアの下端にかかると、車外の水圧により内側からドアを開けることが困難となり、ドア高さの半分を超えると、内側からほぼ開けられなくなります。



風水害について知る

水害とは、大雨や台風などの多量の降雨によって引き起こされる災害です。日本では、毎年、梅雨期の大雨や台風などにより、平年の一ヶ月の雨量を超えるような雨が短時間で降ったり、台風により激しい雨をもたらすと河川の急激な増水により社会生活に大きな影響を及ぼす河川の氾濫や山崩れなどの災害が発生しています。

▶ 雨の強さと降り方

雨の強さと降り方(1時間雨量)

※ゲリラ豪雨等により20mm～30mmの雨でも市街地では冠水する場合があります。

10～20mm やや強い雨



地面一面に水たまりができ、話声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。

20～30mm 強い雨



土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小河川の氾濫や、崖崩れの心配もあります。

30～50mm 激しい雨



バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ、崖崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。

50～80mm 非常に激しい雨



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川は氾濫し、水害発生の可能性が高まります。

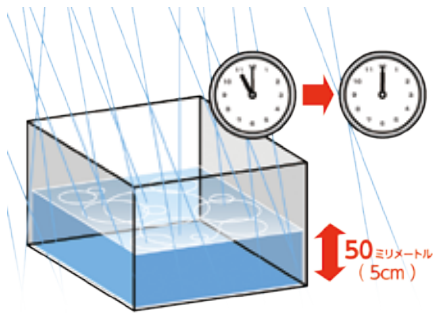
80mm以上 猛烈な雨



息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。

1時間に50mmの雨とは

テレビの気象情報などを見ていると「1時間に〇〇ミリの大雨が…」と説明しているのを良く聞きますが、実際にイメージしにくいと思います。では1時間50ミリの雨とはどの程度の雨なのでしょう。



「1時間に50ミリの雨」というのは雨水が別の場所に流れず、そのままたまる状態で、「1時間に雨水が50mmの高さまでたまる」規模の雨です。



傘を開いたときの面積が概ね1平方メートルで、1時間傘を差していると、傘には牛乳パック50本分もの雨が当たることになります。



まわりの雨水があつまと...

内水氾濫と外水氾濫

降った雨を排水処理できず、建物や土地・道路が水に浸かってしまうことを内水氾濫といいます。外水氾濫と比べて、浸水規模は小さいですが、いたるところで発生しやすい特徴があります。

外水氾濫は、河川の堤防から水が溢れ又は破堤して、家屋や田畑が浸水することをいいます。外水氾濫が発生すると広い範囲が浸水して、大被害が発生する恐れがあるので特に注意が必要です。



大雨が降ると川の水位が上がり、排水されにくくなり、下水道などがあふれてしまいます。



崩れた場所は一気に拡がり、勢いよく水が流れ出し、家などに襲い掛かります。

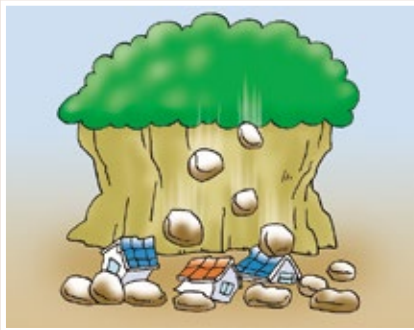
土砂災害について知る

土砂災害の種類

土砂災害には、「がけ崩れ」、「土石流」、「地すべり」の3種類があります。甚大な被害を引き起こす土砂災害に対処するには、それぞれの特性と発生の兆候を知ることが重要です。

◆ がけ崩れ

大雨などをきっかけに、地面にしみ込んだ雨水により急な斜面の土砂が崩れ落ちることを「がけ崩れ」といいます。斜面の崩壊は突然起こりスピードも速いため、人家の近くでがけ崩れが起きると、逃げ遅れる人も多く、人的被害の出やすい災害です。



◆ 土石流

大雨などをきっかけに、谷底にたまった土砂や山腹から崩れ出した土砂が水と混じり合って一体となり、谷を一気に流れ下ることを「土石流」といいます。一瞬のうちに人家や田畑などを壊滅する恐ろしさから、山津波とも呼ばれている災害です。



◆ 地すべり

雨や地下水などをきっかけに、山すそや丘陵地などの斜面などで、地中のすべりやすい地層を境に地面がそっくり動き出すことを「地すべり」といいます。その発生規模は広範囲にわたり、人家や田畑が崩壊してしまうこともあります。



前兆現象



斜面(がけ)から小石がバラバラと落ちてくる



斜面(がけ)から急に水がわき出したり、わき水が濁る

前兆現象



川が濁り、流木が一気に流れる



山鳴りがする

前兆現象



地面にひび割れができる



斜面の所々から急に水がわき出す

土砂災害(特別)警戒区域

土砂災害(特別)警戒区域の指定は、土砂災害防止法に基づき、土砂災害から人命や財産を守るため、危険性のある区域を明らかにし、警戒避難体制の整備や危険箇所への新規住宅の立地抑制等のソフト対策を充実させていくことを目的としています。

▶ 土砂災害警戒区域



土砂災害が想定される区域

▶ 土砂災害特別警戒区域



土砂災害警戒区域のうち、建築物に損害が生じ、住民に著しい被害が発生する恐れがあり、特定の開発行為の制限や建築物の構造規制を行う区域



地震に備える

地震発生から避難後までの行動マニュアル

地震は突然発生するので日ごろの備えが大切です。大きな地震が発生したら「慌てずに身の安全を確保」、「安全なところへ移動」、「より安全なところへ避難」。

地震編

山・がけ崩れ、ため池決壊の危険が予測される地域の方は身の安全を確認してすぐ避難



1~2分

3分

5分

10分

数時間

3日

最初の大きな揺れは約1分間

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。
- あわてて外へ飛び出さない。
- 大きな揺れの場合は、揺れがおさまってから火の始末をする。



揺れがおさまったら

- 火元を確認、火が出たら落ち着いて初期消火する。
- 家族の安全を確認、倒れた家具の下敷きになっていないかを確認。
- 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく。
- 避難するときは、屋根瓦等の転落やブロック塀・自動販売機等の転倒に注意する。
- 仕事やレジャーで海岸部に滞在している場合、直ちに高台へ避難する。



みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- | | | | |
|----------------|---------------------------------|--------------|--------------------------|
| 隣近所に
声をかけよう | ●災害弱者の安全確保、隣近所で助け合う。 | ●行方不明者はいないか。 | ●けが人はいないか。 |
| 出火防止
初期消火 | ●初期消火、消火器を使う。バケツリレー、風呂の水はためておく。 | ●漏電・ガス漏れに注意。 | ●電気のブレーカーを下げる・ガスの元栓を閉める。 |

協力して消火活動、救出・救護活動

- 大声で知らせる。
- 救出・救護をする。
- デマにまどわされないようにする。
- 避難時に車は極力使わない。
- 電話は緊急連絡を優先する。



ラジオ等で正しい情報を得る

- 水、食料は蓄えているものでまかなう。
3日間の飲料水と食料の準備をしておく。
- 災害・被害情報を収集する。
- 無理はやめよう。
- 助け合いの心が大切。
- 壊れた家に入らない。



緊急地震速報

緊急地震速報は、地震が発生してから強い揺れが襲来するまでのごく短い時間を活用して、地震による被害を軽減しようとする情報です。緊急地震速報が鳴ったら「周囲の状況に応じて、あわてずにまず身の安全を確保する。」

気象庁は、最大震度5弱以上が予想された場合で、震度4以上の揺れが予想される地域に対して緊急地震速報（警報）を発表します。地震速報は、以下の方法などで専用の報知音とともに伝えられます。



テレビ



携帯電話・スマホ



防災行政無線

震源に近い地域では、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わないことがあります。

身の回りの耐震対策

住まいの耐震対策

石井町では、地震に対する住宅の安全性の向上と人的被害、経済的被害を軽減することを目的に、住宅所有者が耐震診断並びに耐震改修工事を行う場合、その費用の一部を補助します。

お問合せ先
石井町 危険管理課
TEL 088-674-1171

家具の転倒防止対策

タンス・本棚

L字金具や鎖・ベルトなどで固定する。二段重ねの場合は、つなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



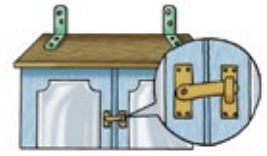
テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上は避ける)。



食器棚

L字金具や鎖・ベルトなどで固定する。重い食器は下に、軽い食器は上の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



照明器具

チェーンと金具を使って数ヶ所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで留めておく。



地震の揺れと想定される被害

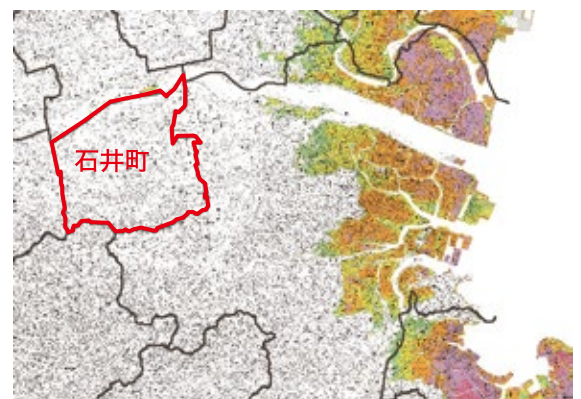
震度	5弱	5強	6弱	6強	7
人の体感・行動	<p>大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。</p>	<p>大半の人が、物につかまらないう歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。</p>	<p>立っていることが困難になる。</p>	<p>立っていることができず、はわなないと動くことができない。</p>	<p>揺れに翻弄され、動くこともできず、飛ばされることがある。</p>
屋内・屋外の状況	<p>つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがある。まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。道路に被害が生じることも。</p>	<p>棚にある食器類や書棚の本で、落ちる物が多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることも。窓ガラスが割れて落ちたり、補強されていないブロック塀が崩れたり、据付不十分な自動販売機が倒れることがある。車の運転は困難。</p>	<p>固定していない家具の大半が移動。倒れるものもあり、ドアが開かなくなることがある。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。</p>	<p>固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる物が多くなる。壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが倒れる。</p>	<p>固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する建物がさらに多くなる。</p>

津波について

石井町までは、津波が到達する想定ではありませんが、南海トラフ地震が起こると徳島県沿岸部では、大きな津波が押し寄せることが予測されます。

浸水深(m)

10.0 ~
5.0 ~ 10.0
4.0 ~ 5.0
3.0 ~ 4.0
2.0 ~ 3.0
1.0 ~ 2.0
0.3 ~ 1.0
0.01 ~ 0.3





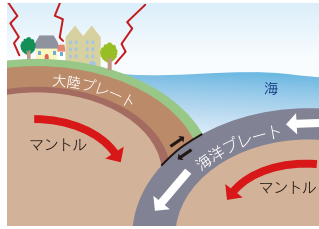
地震について知る

石井町で予測される地震は海溝型地震(南海トラフ地震)と内陸型地震(中央構造線活断層地震、上浦-西月ノ宮断層地震)があります。前回の南海トラフ地震(昭和東南海地震(1944年)及び昭和南海地震(1946年))が発生してから70年以上が経過した現在では、次の南海トラフ地震発生 of 切迫性が高まっています。

海溝型地震

海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込んでいるために定期的に大陸プレートが跳ね上がって起こる地震

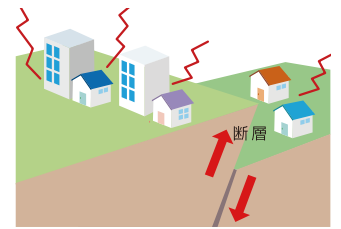
- 揺れている時間が長い。(1分以上続く場合もある。)
- 大津波が襲ってくる危険性がある。
- 短くて数十年から100年単位の間隔で発生する。



内陸直下型地震

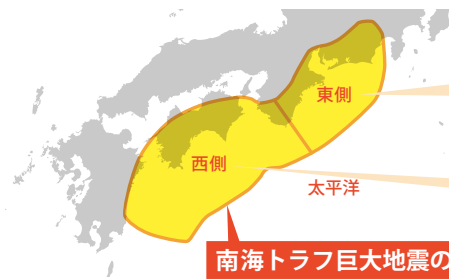
陸域の比較的地下の浅いところ(ユーラシアプレートの内部)で活断層がずれて起こる地震

- 揺れている時間が相対的に短い。
- 都市直下で起こる危険性がある。
- 千年~1万年程度の間隔で発生する。



地震編

▶ 地震は一度では終わらないかも？



過去事例

1854年 安政東海地震 M8.6

↓ 約32時間後…

1854年 安政南海地震 M8.7

1944年 昭和東南海地震 M8.2

↓ 約2年後…

1946年 昭和南海地震 M8.4

※Mはモーメントマグニチュード

※西側で先に大規模地震が発生する可能性もあります。

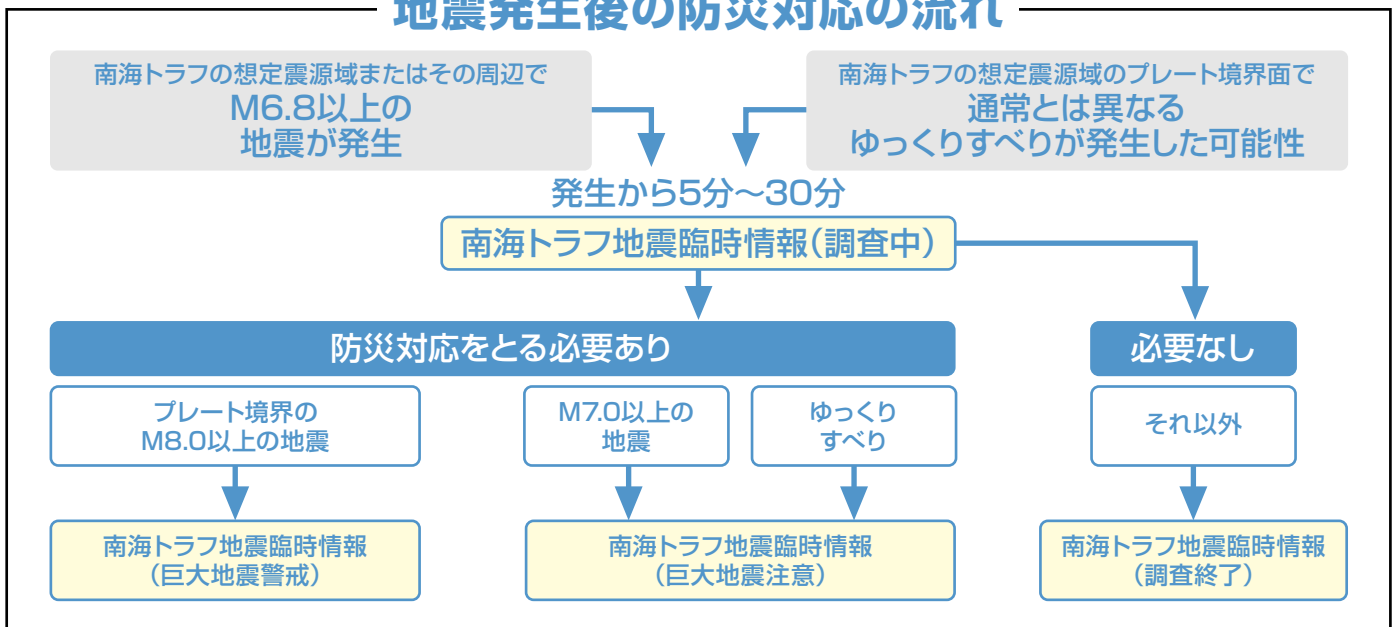
南海トラフ地震臨時情報

南海トラフでは、過去に32時間後や約2年後に時間差で大規模な地震が発生したことがあり、時間差で発生する大規模な地震に備える必要があります。

「南海トラフ地震臨時情報」は、例えば、南海トラフ沿いの東側で地震が発生し、西側でも地震が続発する可能性が高まった場合などに気象庁より発表されます。

南海トラフ地震臨時情報が発表された場合、日ごろからの地震の備えを再確認しましょう。

地震発生後の防災対応の流れ



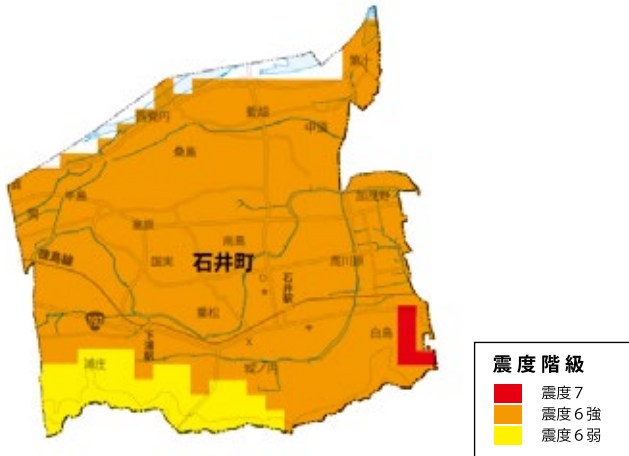
※「南海トラフ地震—その時の備え—」(内閣府気象庁)より作成



地震ハザードマップ

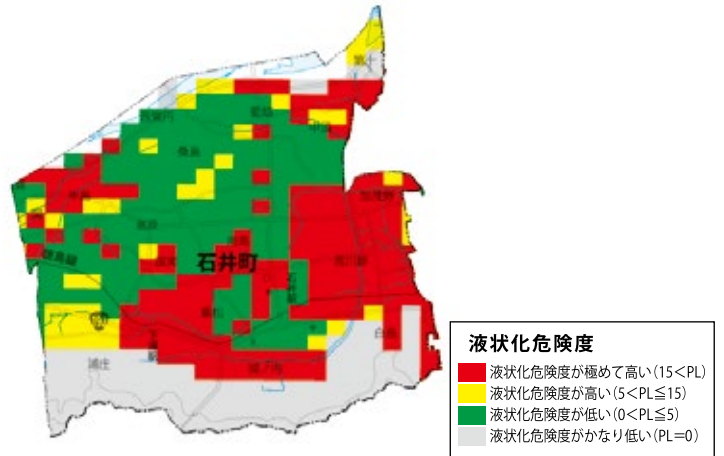
南海トラフ地震 震度分布図・液状化危険度分布図

石井町震度分布図(南海トラフ地震)



地震による揺れの強さは、地震の規模、断層からの距離に加えて、地盤の柔らかさやその厚さなどによって大きく変わります。石井町は土や砂が厚く堆積した場所が多く、地震の揺れが増幅しやすい傾向にあります。

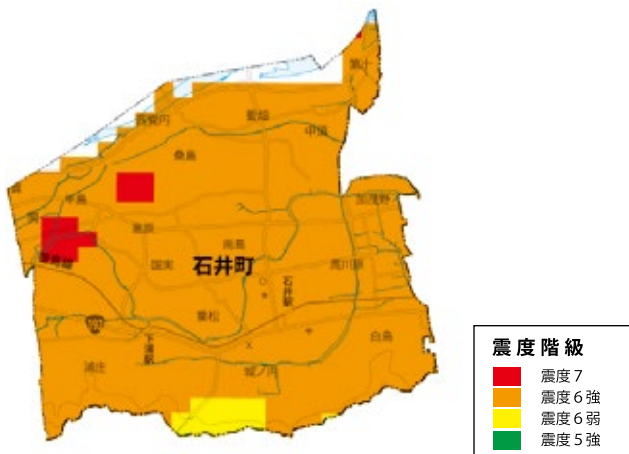
石井町液状化危険度分布図(南海トラフ地震)



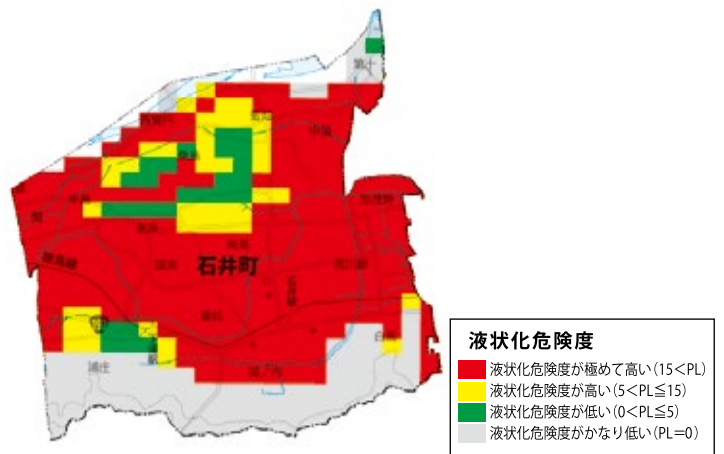
液状化とは地震の揺れる振動によって地盤が液体状になることです。これによって地盤を失った建物が倒れたり、砂交じりの水が地表に噴出したりします。

中央構造線断層地震 震度分布図・液状化危険度分布図

石井町震度分布図(中央構造線断層地震)



石井町液状化危険度分布図(中央構造線断層地震)

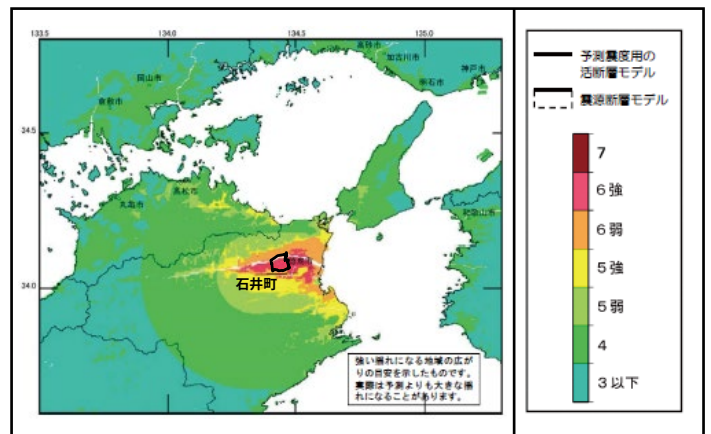


上浦 - 西月ノ宮断層地震被害想定

上浦-西月ノ宮断層は、石井町南部を縦断しており断層の長さは約10kmと推定される。この断層による地震が発生した場合、マグニチュード6.5程度の地震が発生すると予測されている。

参照「四国地域の活断層の長期評価(第一版)」(平成29年12月19日 地震調査研究推進本部事務局)

簡便法震度分布図(上浦-西月ノ宮断層)





避難所等一覧

避難所の開設方法

避難指示等の発令により開設する避難所は、その時の状況に応じて発令対象区域内の避難所の中から町が選定し開設します。

避難指示等の発令と同時に、開設した避難所名をお知らせしますので、その場所へ避難してください。また避難される際は可能な範囲で食糧等をご持参ください。

避難指示等が発令される前に自主避難される場合は、事前に石井町役場(088-674-1171、088-674-1111)で避難所の開設状況をご確認ください。

なお、豪雨等で避難所への移動が困難である場合は、屋内の2階以上や近隣の高い堅牢な建物内で身の安全を確保してください。

●避難所について 『町内の避難所は次のとおりです。災害の状況・規模等により開設する避難所を決定します。』

注意 対応災害欄について

洪水① ……飯尾川・江川・鮎喰川がはん濫した際に想定されている浸水深(それぞれの場所における最大値)に達した場合

洪水② ……吉野川がはん濫した際に想定されている浸水深(それぞれの場所における最大値)に達した場合

令和3年2月現在の浸水想定に基づき判断しています。

○:対応可能 ×:対応不可 △:上層の階で対応可能

広域避難場所 『公園、グラウンド等の屋外で大人数収容できる場所(避難生活する場所ではありません)』

	施設名	所在	対応災害				
			避難れ・土石流 地すべり	地震	大規模 な火災	洪水①	洪水②
1	前山公園	石井字城ノ内923	○	○	○	○	○
2	石井中学校(グラウンド)	高川原字高川原125-1	○	○	○	×	×
3	高浦中学校(グラウンド)	浦庄字国実100	○	○	○	×	×
4	飯尾川公園	高川原字高川原2115-3	○	○	○	×	×
5	石井町防災センター(三郎広場)	藍畑字西覚円1282-1先	○	○	○	○	×

指定避難所 『住宅等での生活が困難になった場合に、一定の期間生活の場として活用する施設』

	施設名	所在	対応災害				
			避難れ・土石流 地すべり	地震	大規模 な火災	洪水①	洪水②
6	石井小学校	石井字石井1184-1	○	○	○	△	△
7	石井町保健センター	石井字石井380-11	○	○	○	△	×
8	石井町中央公民館	石井字石井480-1	○	○	○	○	×
9	公民館石井分館	石井字石井431-1	○	○	○	△	×
10	前山公園屋内運動場(体育館)	石井字城ノ内923	○	○	○	○	○
11	尼寺教育センター	石井字尼寺53-1	○	○	○	×	×
12	名西高校	石井字石井21-11	○	○	○	△	△
13	徳島県立農林水産総合技術支援センター	石井字石井1660	○	○	○	△	△
14	石井町地域防災交流センター	石井字石井365-1	○	○	○	×	×
15	浦庄小学校	浦庄字下浦475-1	○	○	○	○	△
16	公民館浦庄分館	浦庄字下浦602-1	○	○	○	△	×
17	高浦中学校	浦庄字国実100	○	○	○	○	△
18	高原小学校	高原字東高原250-1	○	○	○	○	△
19	公民館高原分館	高原字東高原223-1	○	○	○	○	×
20	藍畑小学校	藍畑字東覚円670	○	○	○	○	△
21	公民館藍畑分館	藍畑字東覚円671-1	○	○	○	○	×
22	石井中学校	高川原字高川原125-1	○	○	○	△	△
23	高川原小学校	高川原字高川原1167	○	○	○	△	△
24	公民館高川原分館	高川原字高川原1276	○	○	○	△	×
25	高川原福祉会館・公会堂	高川原字高川原666-1	○	○	○	×	×

一時避難所 『災害時の危険を回避するために、一時的に避難する施設。付近住民の集合・待機場所』

	施設名	所在	対応災害				
			避難れ・土石流 地すべり	地震	大規模 な火災	洪水①	洪水②
26	石井町消防団 石井分団第2部詰所	石井字石井958-12	○	○	○	△	×
27	石井町消防団 石井分団第6部詰所	石井字石井2480-3	○	○	○	○	×

	施設名	所在	対応災害				
			避難先(土石流・地すべり)	地震	大規模な火災	洪水①	洪水②
28	石井町消防団 石井分団第7部詰所	石井字白鳥553	×	○	○	○	×
29	重松 農業構造改善センター	石井字重松235-4	○	○	○	×	×
30	石井町消防団 浦庄分団第2部詰所	浦庄字上浦649-1	○	○	○	○	×
31	石井町上南集会所	浦庄字上浦662-7	○	○	○	○	×
32	下浦東 農業構造改善センター	浦庄字下浦915	×	○	○	○	×
33	石井町消防団 浦庄分団第3部詰所	浦庄字諏訪943-8	○	○	○	△	×
34	石井町消防団 浦庄分団第1部詰所	浦庄字大万122-8	○	○	○	×	×
35	大万 農業構造改善センター	浦庄字大万137-1	○	○	○	×	×
36	関 農業構造改善センター	高原字関357-1	○	○	○	×	×
37	石井町消防団 藍畑分団第6部詰所	藍畑字西覚円996-1	○	○	○	○	×
38	石井町消防団 藍畑分団第7部詰所	藍畑字東覚円483-2	○	○	○	○	×
39	石井町消防団 藍畑分団第3部詰所	藍畑字西覚円1392-3	○	○	○	○	×
40	石井町消防団 藍畑分団第5部詰所	藍畑字高畑1852-1	○	○	○	○	×
41	高畑東 農業構造改善センター	藍畑字高畑436-5	○	○	○	○	×
42	石井町高畑西集会所	藍畑字高畑1155-1	○	○	○	○	×
43	石井町竜王集会所	藍畑字竜王52-9	○	○	○	○	×
44	石井町消防団 藍畑分団第4部詰所	藍畑字第十123-1	○	○	○	○	×
45	石井町消防団 高川原分団第3部詰所	高川原字南島477地先	○	○	○	△	×
46	南島 農業構造改善センター	高川原字南島627	○	○	○	×	×
47	加茂野 農業構造改善センター	高川原字加茂野145	○	○	○	○	×

指定緊急避難場所 『危険を回避するための避難場所として、地震や洪水など災害の種類ごとに指定された施設』
石井町では、上記の広域避難場所・指定避難所・一時避難所をすべて指定緊急避難場所としています。

福祉避難所 『災害時の要援護者が介助等の必要な支援を受けるための施設で、二次的な避難所』
避難の順序として、一般の避難所に避難いただいた後に、必要と認められた方について福祉避難所へ移動していただきます。

施設名	所在
障害者支援施設 有誠園	石井字城ノ内563
特別養護老人ホーム 青藍荘	高原字中須8-1
れもん	石井字白鳥73-1
グループホーム 濃姫	石井字重松208-1
デイセンター 上総介	石井字重松208-1

新型コロナウイルスの影響下における避難生活

災害発生後に、水害による浸水や地震による津波、家屋倒壊の危険性がない場合は、感染リスクの低い自宅や親戚宅など、「少人数・個別空間」での避難を優先させましょう。

どこに避難する場合であっても、感染症予防や蔓延防止のために一人ひとりが対策を行いましょう。

3密（密閉・密集・密接）を避けましょう



こまめに手洗い・アルコール消毒をしましょう



常にマスクを着用し、咳エチケットを守りましょう。





要配慮者利用施設一覧

要配慮者利用施設とは、社会福祉施設、学校、医療施設その他の主として防災上の配慮を必要とする人が利用する施設のことです

施設名		住所	施設名		住所
1	光の子保育園	石井字石井556-5	42	合同会社徳島県ふれあい介護支援センター 通所介護事業所	高川原字天神671-3
2	気延のりの保育園	石井字石井2033-2	43	デイケア ミハス	石井字石井231-1
3	いしいキッズ	高川原字高川原313-9	44	健生石井クリニック通所リハビリテーション	高川原字高川原2155
4	さくら認定こども園	高川原字高川原1254-1	45	石岡整形外科通所リハビリテーション	高川原字桜間215
5	高原保育所	高原字西高原214-1	46	喜久寿苑通所リハビリテーション	高原字桑島561-1
6	高川原保育所	高川原字高川原202-1	47	とおoryんせ	藍畑字高畑166-1
7	浦庄保育所	浦庄字国実115-1	48	有誠園地域活動支援センター	石井字城内563
8	石井学童にこにこクラブ第1	石井字石井1214-5	49	障害者支援施設有誠園	石井字城内563
9	石井学童にこにこクラブ第2	石井字石井1214-5	50	地域活動支援センターれもん	石井字尼寺138-1
10	石井学童にこにこクラブ第3	石井字石井1214-5	51	れもん	石井字白鳥73-1
11	浦庄ともだちクラブ	浦庄字下浦475-1	52	スタジオれもん	石井字尼寺138-2
12	高原学童キッズクラブ	高原字東高原252-1	53	れもんワークス	石井字白鳥204-1
13	藍畑学童保育クラブ	藍畑字東覚円670	54	ケアセンターれもん	高川原字市楽501
14	高川原なかよしクラブ	高川原字高川原1161	55	れもんホーム1	石井字白鳥69-1
15	高川原第2なかよしクラブ	高川原字高川原1161	56	れもんホーム2, 3	浦庄字下浦230-8
16	特別養護老人ホーム青藍荘	高原字中須8-1	57	れもんホーム4, 5	浦庄字下浦230-6
17	介護老人保健施設喜久寿苑	高原字桑島561-1	58	れもんホーム6	石井字白鳥74-3
18	介護老人保健施設健生石井老健うぐいす	高川原字高川原2155	59	キッズサポートあいいろ	高川原字加茂野171-6
19	養護老人ホーム仁寿園	石井字石井1994	60	キッズサポートあいいろジュニア	高川原字天神717-1
20	ケアハウスオブリガートハウス	浦庄字上浦240-6	61	ナイスくわじま	高原字桑島282-2
21	ケアハウスまこと	高原字桑島558-1	62	とおoryんせ2	藍畑字高畑1311
22	仁誠天神	高川原字天神725-4	63	とおoryんせ3	藍畑字高畑1311
23	ローテンプルク虹の橋	石井字石井233-30	64	ウェルケア徳島	石井字石井745-2
24	希の里	藍畑字東覚円103-2	65	手束病院	石井字石井434-1
25	ショートステイ昭誠館天神	高川原字天神725-4	66	伊勢内科小児科	石井字石井726-7
26	グループホーム濃姫	石井字重松208-1	67	なかたに産婦人科	石井字石井554-7
27	グループホーム 希	石井字石井1994	68	遠藤産婦人科	石井字石井513-1
28	グループホームまことの家	高原字桑島558-1	69	石岡整形外科	高川原字桜間215
29	グループホーム花乃苑石井	藍畑字東覚円70-3	70	石井虹の橋クリニック	石井字石井231-1
30	グループホームみま石井	浦庄字上浦524-9	71	石井幼稚園	石井字石井1165-2
31	デイサービスセンター気延の里	石井字石井1994	72	浦庄幼稚園	浦庄字下浦481-1
32	デイサービスセンター藤の里	藍畑字東覚円103-1	73	高原幼稚園	高原字西高原214-1
33	デイハウス青藍	高原字中須8-1	74	高川原幼稚園	高川原字高川原1258
34	石井デイサービスセンター	高川原字天神725-1	75	藍畑幼稚園	藍畑字東覚円670
35	デイサービスセンターあい介護	石井字重松680-1	76	石井小学校	石井字石井1184-1
36	デイセンター上総介	石井字重松208-1	77	浦庄小学校	浦庄字下浦475-1
37	デイサービスセンターひかりの家	藍畑字東覚円202	78	高原小学校	高原字東高原250-1
38	デイサービスくつろぎ	浦庄字上浦524-10	79	高川原小学校	高川原字高川原1167
39	明日香デイサービスセンター	浦庄字下浦342-1	80	藍畑小学校	藍畑字東覚円670
40	デイサービスともに	藍畑字高畑1028-3	81	石井中学校	高川原字高川原125-1
41	デイサービスセンターリン	浦庄字下浦341-1	82	高浦中学校	浦庄字国実100

石井地域情報チャンネル

石井ケーブルテレビの112チャンネルを活用し、役場から町民のみなさんに発信する地域情報を集約した専用チャンネルです。

避難情報などが確認できるほか、町内数カ所に設置した情報カメラから、河川や道路の状況をご覧いただけます。ぜひご活用ください。(令和3年5月頃より運用開始予定)

視聴方法

石井ケーブルテレビ111チャンネルを表示後リモコンのチャンネルボタンの上ボタン(または + ボタン)を押してください。



※ご使用のリモコンによっては操作方法が異なる場合があります。

災害時のための連絡MEMO



🏠 **家が被災したときの集合場所** ご家族などで話し合っけて記入ください。



🏠 **緊急時の連絡先**

相手方	電話番号
	TEL
	TEL

大きな地震が発生すると、電話回線が混み合いつながりにくくなります。災害時の際は各電話会社が設置する「災害用伝言ダイヤルサービス」や「災害用伝言板サービス」を利用できます。

災害用伝言ダイヤルサービス 171 1 7 1 忘れてイナイと覚えましょう！



緊急連絡先

石井町役場	088-674-1111
名西消防組合 石井消防署	088-674-6788
徳島名西警察署石井庁舎	088-674-0110

石井町役場 危機管理課

住所	〒779-3295 徳島県名西郡石井町高川原字高川原121-1
TEL	088-674-1171
HPアドレス	https://www.town.ishii.lg.jp/



石井町公式SNS

Instagram アカウント名 town_ishii		いしいアプリ いしいアプリ <input type="button" value="検索"/>		Facebook アカウント名 石井町との交流サイト		Twitter アカウント名 @ishiitown	
--	--	---	--	---	--	--	--

防災行政無線 テレフォンサービス

防災行政無線の放送内容が聞き取りにくい場合は、
 テレフォンサービスをご利用ください。



088-674-7730